

### 美基玻璃纤维滤膜 A 批间稳定性

#### 实验：不同批次的玻璃纤维滤膜 A 的吸附效率和最高结合力

**实验操作：**按 P1001C 试剂盒，取 1ml, 4ml 和 6ml 培养过夜的 LB 培养液，按比例制备大管上清液，然后取上清液到不同批次的玻璃纤维滤膜生产的纯化柱 A3，以及对照柱（4 层 Whatman GFB）进行过柱吸附 DNA，用 500ul PW1 清洗，500ul PW2 清洗，最后 100ul Elution Buffer 洗脱出 DNA。

柱子名称	膜的生产日期	上样量	核酸(ng/ul)	260/280	260/230	产量 (ug)
4 层 Whatman GFB	对照	1ml 菌液	89	1.9	1.3	9
3 层玻璃纤维滤膜 A 纯化小柱 A3	2025 年 04 月 23 日		86	1.9	1.5	9
	2025 年 10 月 20 日		88	1.9	1.6	9
			85	1.9	1.6	9
	2025 年 11 月 20 日		80	1.8	1.5	8
			92	1.8	1.4	9
	2025 年 12 月 26 日		91	1.8	1.6	9
			88	1.8	1.5	9
	2026 年 01 月 09 日		90	1.8	1.5	9
			86	1.8	1.6	9
				80	1.8	1.5
			85	1.9	1.6	9
4 层 Whatman GFB	对照	4ml 菌液	318	1.9	2.0	32
3 层玻璃纤维滤膜 A 纯化小柱 A3	2025 年 04 月 23 日		330	1.9	2.2	33
	2025 年 10 月 20 日		311	1.9	2.3	31
			315	1.9	2.3	32
	2025 年 11 月 20 日		307	1.9	2.3	31
			324	1.9	2.3	32
	2025 年 12 月 26 日		323	1.9	2.2	32
			328	1.9	2.3	33
	2026 年 01 月 09 日		299	1.9	2.2	30
			306	1.9	2.3	31
				310	2.0	2.4
			314	1.9	2.2	31
4 层 Whatman GFB	对照	6ml 菌液	415	1.9	2.3	42
3 层玻璃纤维滤膜 A 纯化小柱 A3	2025 年 04 月 23 日		393	1.9	2.2	39
	2025 年 10 月 20 日		401	1.9	2.3	40
			406	1.9	2.3	41
	2025 年 11 月 20 日		436	1.9	2.3	44
			445	1.9	2.3	45
	2025 年 12 月 26 日		426	1.9	2.3	43
			421	1.9	2.3	42
	2026 年 01 月 09 日		420	1.9	2.3	42
			410	1.9	2.3	41
				390	1.9	2.3
			388	1.9	2.3	39

实验表明，玻璃纤维滤膜 A，不同时间生产的膜，批间差小。3 层玻璃纤维滤膜 A 生产的纯化柱 A3,不超载情况下（30μg），结合效率稳定，批间差小；在临界超载范围 40~45 μg 时，批间稍大一点。